

JB

花みどり振興財団

# 経営状況説明書

公益財団法人浜松市花みどり振興財団の  
令和6年度決算

# 目 次

	頁
1 令和6年度事業の報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
2 令和6年度決算の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17

公益財団法人浜松市花みどり振興財団の令和 6 年度決算について

公益財団法人浜松市花みどり振興財団の令和 6 年度決算を地方自治法  
第 243 条の 3 第 2 項の規定に基づき次のとおり報告する。

浜松市長 中 野 祐 介



令和 6 年度

事業の報告

# 令和6年度 公益財団法人浜松市花みどり振興財団 事業報告

## 1 概況

(1) 花き類の栽培や展示等の事業を通して、花みどりの普及と情操教育の場の提供に努めるとともに、園芸文化の創造と浜名湖地域社会の活性化に資することを目的に平成25年4月、公益財団法人として設立された当財団は、浜松・浜名湖周辺の貴重な観光資源としての集客施設（フラワーパーク及び動物園）の運営に加え、地域に貢献しうる公益目的事業（園芸文化普及・情操教育推進事業）推進と円滑な法人運営を行いました。

令和6年度は「浜名湖花博2024」の開催年度であり、令和6年3月23日から6月16日までの86日間、当園の入園者目標40万人に対して国内外から498,630人ものご来園を頂きました。

今回の「浜名湖花博2024」では各種市民参加催事や財団企画による自主事業及び新規花壇展示の充実を図ったほか、ボランティアの皆様や浜松市、実行委員会等関係機関との協力連携により、「園芸文化の創造と浜名湖周辺の地域振興」という当財団の設立目的を十二分に果たすとともに、浜名湖周辺地域に多大な経済波及効果をもたらすことができました。また、当園で活発な市民交流が展開されたことで花とみどりあふれるまちづくりの市民意識と緑化思想の高揚にも寄与することができました。

フラワーパークの年間入園者数（有料無料計）については670,090人で、前年度と比較すると275,176人、69.7%の増加となりました。また、当初計画は50万人としており、達成率は134.0%となりました。

その一方で、「浜名湖花博2024」閉幕以降は観光客の動向も比較的落ち着いた状況となっているほか、物価高騰等による景気の不透明感やレジャーの多様化等の厳しい環境下で継続して入場者増を図るのは容易ではありませんが、「花と緑のまち・浜松」を象徴するもてなしの場づくりに懸命に取り組む中で、園の利便性向上と利用者ニーズを常に探り、何度でも園に足を運びたいくなるような事業提案に引き続き努めてまいります。

今後も法人としての理念や実績、長年培ってきた知識・園芸経験のアピールに努めながら、市民からの信頼と期待に応える事業展開や着実に確固たる財政基盤の確立にも取り組み、財団一丸となって「感動」と「安らぎ」を提供する快適な園づくりに邁進してまいります。

## 有料無料入園者数

(単位：人)

区 分	入園者数
計 画 目 標	500,000
有 料 入 園 者	492,540
無 料 入 園 者	177,550
入 園 者 合 計	670,090

合計の入園者数は計画目標を上回りました。

これは、「浜名湖花博 2024」事業の成功に加え、「フラワーイルミネーション」や当年度末に開催した「浜名湖花フェスタ 2025」等のイベントも一定の成果を上げ、「浜名湖花博 2014」が開催された平成 26 年度に次ぐ入園者をお迎えすることができたことによるものです。

これにより、「浜名湖＝（イコール）花」としての認知度向上と観光需要を喚起する役割を担う事ができました。

令和 7 年度は館山寺総合公園第 3 期指定管理事業の最終年（5 年間）という仕上げの年度であり、新たな取り組みを行う中で、引き続き風格ある園づくりに努めるとともに、花みどりの効果を活用しての「公園福祉事業」や、「花育」活動の一環としての出張園芸講座及び学生ボランティアの受け入れなどにより、健全な青少年育成を目指す「心根（こころね）」教育振興事業を推進することで、更に顧客満足度を高めてまいります。

(2) 市民や館山寺温泉宿泊客の利便を考慮し、令和 6 年度も 1 月 1 日から開園いたしました。

(3) 職員数は、令和 5 年度の 28 人に対し、令和 6 年度は 1 人増の職員計 29 人の組織体制で運営いたしました（令和 7 年 3 月 31 日現在）。嘱託職員等を採用し、人的資源の有効活用を行ったほか、現有人員の業務分担の見直しや繁忙期の臨時雇用による対応も行い、来園者へのサービス水準の維持に努めました。

令和 7 年度以降についてもスタッフの効果的配置により、入園者にとって快適に園内を楽しんでいただけるよう、質の高い管理運営に努めるとともに、園芸技術の次世代への適切な継承等も行ってまいります。

## 2 経営成績

### (1) 経営成績の推移

経常収益は 891,565 千円で、前年度と比べ 322,517 千円の増収となりました。これは「浜名湖花博 2024」開催に伴い、前年に比べ入園料、売店売上等の事業収益が増加したことによるものです。

経常費用は 840,610 千円で、前年度と比べ 254,853 千円の増加となりました。これは職員の人件費や「浜名湖花博 2024」開催による営業費用及び寄附金等の増によるものです。

その一方で、電気料等光熱費や諸物価の高騰は深刻であり、前年度に引き続き時差出勤の活用等による人件費等固定費の抑制や草刈・清掃委託業務等一部業務の直営化により、管理経費の削減に努めました。

当財団では収入増に向けた取り組みとして、上限に近い入園料期間を長く設定して入園料の増加に努める一方で、経常的な経費削減はもとより、人的資源を最大限に活用しつつ、諸事業の見直し・改善を積み重ねるなど円滑な園運営の推進に努めた結果、経常増減額は 50,955 千円（対前年度 67,664 千円の増加）となりました。

### 比較正味財産増減計算書

(単位：千円)

区 分		R6 年度	R5 年度	R4 年度	対前年度比		
					R6/R5	R6/R4	
経常収支	収益	フラワーパーク経常収益	891,565	569,048	553,502	156.7%	161.1%
	経常収益計①		891,565	569,048	553,502	156.7%	161.1%
	費用	フラワーパーク経常費用	840,610	585,757	559,264	143.5%	150.3%
	経常費用計②		840,610	585,757	559,264	143.5%	150.3%
	経常増減額①－②		50,955	△16,709	△5,762	-	-

※表示単位未満を四捨五入しているため、表内の計が一致しないことがあります。

## (2) 財政状況

資産は、550,684千円（対前年度67,879千円の増加）となりました。内訳は、営業収入の増等による流動資産57,767千円の増加や退職給付引当資産の増加に伴う固定資産10,112千円の増加によるものです。

負債は、300,006千円（対前年度32,150千円の増加）となりました。内訳は、流動負債21,944千円の増加と、固定負債10,206千円の増加です。流動負債の増加は課税売上増に伴う未払消費税の増加等によるものです。固定負債の増加は、退職給付引当金の増加によるものです。

正味財産は、250,678千円（対前年度35,729千円の増加）となりました。当期一般正味財産増減額の増加によるものです。

### 比較貸借対照表

(単位：千円)

区 分		R6 年度末		R5 年度末		増減額	対前年度比
		金額 (A)	構成比	金額 (B)	構成比	(A) - (B)	(A) / (B)
資産	流動資産	303,509	55.1%	245,742	50.9%	57,767	123.5%
	固定資産	247,175	44.9%	237,063	49.1%	10,112	104.3%
資産計 ①		550,684	100.0%	482,805	100.0%	67,879	114.1%
負債	流動負債	124,592	41.5%	102,648	38.3%	21,944	121.4%
	固定負債	175,414	58.5%	165,208	61.7%	10,206	106.2%
負債計 ②		300,006	100.0%	267,856	100.0%	32,150	112.0%
正味財産	指定正味財産	55,000	21.9%	55,000	25.6%	0	100.0%
	一般正味財産	195,678	78.1%	159,949	74.4%	35,729	122.3%
正味財産計 ①-②		250,678	100.0%	214,949	100.0%	35,729	116.6%

※表示単位未満を四捨五入しているため、表内の計が一致しないことがあります。



### 3 課題への対応状況と今後の方針

当財団は公益財団へ移行した平成 25 年度より、フラワーパークと動物園を含む館山寺総合公園の指定管理を受託してまいりましたが、令和 6 年度までの 12 年間にわたり、入園料変動料金制により収益構造の見直しを図ったほか、民間経営の手法を取り入れ、圧倒的な美しさを求めて園の魅力度アップ事業等を推進するとともに、フラワーパークと動物園の一体的な管理による経費節減を進め、財政基盤の強化と経営健全化に努めてまいりました。

項目	対応状況	今後の方針
①類似施設との差別化	夜桜開園や冬季イルミネーション等における照明機器の充実をはじめ、「浜名湖花博 2024」で新たに整備した花壇や既存展示の一層の充実等、斬新な花みどりの魅力を創出することにより、園のクオリティをさらに高め、他施設との差別化に努めました。	「世界一美しい桜とチューリップの庭園」「虹のフジのトンネル」を主として圧倒的な美しさを追求するとともに、園の顔でもある「三角花壇」更新による更なる魅力演出に努め、市民の生きがいづくりに貢献します。
②来園機会の効率的な創出	国公立植物園では数少ない入園料の「変動料金制」や無料期間、「お買物券付入園券」により、お得感を提供し、来園機会の創出と収入増に努めました。	「電子チケット」や「電子パスポート」等キャッシュレス決済活用による利便性向上にも継続的に取り組み、市民リピーターの拡大に努めます。
③職員の年齢構成の偏りと技術の継承	業務量が年々拡大する中で、正規・嘱託職員の採用や退職職員の再雇用等でカバーするとともに、新たな企画の提案や事業策定についてもスタッフ一丸となって取り組みました。	職員採用はもとより、技術の継承、既存の人材育成強化による組織の活性化にも取り組むことで、強固で確固たる運営体制の構築に努めてまいります。
④浜名湖花フェスタの継続開催と地域連携	地域連携をさらに推進すべく、春の浜名湖ウエルカム事業の中核イベントとして「浜名湖花博 2024」と「浜名湖花フェスタ」を同時開催しました。	国交省「ガーデンツーリズム計画」に選定された「アメイジングガーデン浜名湖」を核に庭園観光の中心地としての取り組みを通じて「浜名湖花フェスタ」と同様に地域連携と地域活性化を図ります。
⑤収益性の高い事業の開拓	レストランメニューの随時見直し、花みどり館カフェのスイーツ専門店としての営業、キャッシュレス機能活用による利便性向上など、入園者ニーズへの柔軟な対応に努めました。	地元の花き類販売や当園ならではの付加価値を持つ商品開発（オリジナルはちみつ）、キッチンカー出店等により収入増を図るなど、収益基盤の強化を図ります。
⑥施設・設備の老朽化と新たな魅力の造成	不具合箇所を早期復旧や舗装修繕の実施等、ソフト・ハード両面に亘る計画的な整備を市と連携し実施しました。	老朽設備改修はもとより、既存設備の日常点検・維持管理等を適切に行うことで、施設の長寿命化を推進し、さらに満足度の高い園づくりに取り組みます。

#### 4 フラワーパークイベント等事業報告

※◎印大型イベント, ○印新規・臨時事業

月	行事名	期間等	月	行事名	期間等
4月	◎世界一美しい「桜とチューリップの庭園」	3/23(土)～14日(日)	7月	◎夏休み自然と遊ぼう こども水遊び広場	20日(土)～8/25(日)
	◎夜間開園「夜桜ライトアップ」	3/23(土)～6日(土)		植物のたたき染め	24日(水) (参加 6人)
	八重桜を楽しもう!	6日(土) (参加 43人)		◎夏休み自然と遊ぼう カプトムシ・クワガタワールド	27日(土)～8/25(日)
	サクラソウ展	13日(土)～21日(日)		◎夏休み自然と遊ぼう 不思議な植物の世界～食虫植物～	27日(土)～8/25(日)
	さくらそう講座	14日(日) (参加 12人)		◎夏休み自然と遊ぼう 食虫植物教室	27日(土)・28日(日) (参加 38人)
	春のフジ見どころガイド	21日(日) (参加 20人)		花のウォーキング〈全12回〉	13日(土) (参加 27人)
	塚本こなみの園芸教室 「美しいフジの咲かせ方」	29日(月) (参加 110人)		とく得講座(不思議な植物の世界)	3日(土) (参加 10人)
	◎夜間開園「フジ&スマイルガーデンライトアップ」	25日(木)～5/5(日)		葉脈標本づくり	8日(木) (参加 7人)
花のウォーキング〈全12回〉	13日(土) (参加 20人)	木の動物作り教室	11日(日) (参加 2組)		
5月	春のうんちく散歩	12日(日) (参加 25人)	8月	夏休みクラフトフェア	14日(水)～20日(火)
	○ステンドグラスのミニプラントを作ろう	18日(土) (参加 14人)		名前入りヒョウタンプレゼント	24日(土) (参加 74人)
	菊づくり入門教室	20日(月) (参加 5人)		芝小僧を作ろう!	24日(土) (参加 10人)
	サツキ展	24日(金)～26日(日)		オオオニバスに乗ってみよう	(中止)
	花のウォーキング〈全12回〉	18日(土) (参加 20人)		花のウォーキング〈全12回〉	10日(土) (中止)
6月	手筒花火	15日(土)	9月	遠州の自然展	2日(月)～30日(月)
	バラの育て方教室(夏編)	20日(木) (参加 10人)		敬老の日にお花の寄植えを贈ろう	14日(土) (参加 6人)
	アジサイの育て方教室	22日(土) (参加 20人)		第52回 金魚品評大会	22日(日)
	新緑から夏至のころの自然観察会	22日(土) (参加 14人)		花のウォーキング〈全12回〉	14日(土) (参加 20人)
	○小さなフラワードレス作り	23日(日) (参加 4人)		○秋のリース作り	5日(土) (参加 20人)
	花のウォーキング〈全12回〉	8日(土) (参加 27人)		全国らんちう品評大会	6日(日)
7月	○フジの剪定教室	6日(土) (参加 14人)	10月	○シンボルツリーを探そう	6日(日) (参加 7人)
	ハーバリウム教室	7日(日) (参加 8人)		体験! ノルディックウォーク	13日(日) (参加 1人)
	○暮らしに活かす和ハーブ～夏編～ドクダミ活用法	20日(土) (参加 23人)		ウェルネスデイinはままつラワーパーク	19日(土)
	コケのテラリウム作り	20日(土) (参加 13人)		The Hula Festival2024	20日(日)

月	行事名	期間等	月	行事名	期間等	
10月	植物の“タネ”を探そう！！	27日(日) (中止)	2月	◎梅&早咲きの桜	1(土)～3/23(日)	
	花のウォーキング<全12回>	12日(土) (参加 27人)		甘酒無料接待	2日(日)～23日(日) (日曜日のみ)	
11月	第73回 浜松菊花大会	2日(土)～23日(土)		おひな様展とクラフトフェア	1日(土)～11日(火)	
	百種接分菊展示	1日(金)～12/5(木)		館山寺総合公園day	2日(日)	
	○花の和紙づくり	3日(日) (中止)		早春のうんちく散歩	23日(日) (参加 35人)	
	老鴉柿展	8日(金)～10日(日)		花のウォーキング<全12回>	8日(土) (参加 23人)	
	秋のうんちく散歩	10日(日) (参加 17人)		3月	春の花をより美しく撮る撮影教室	2日(日) (参加 10人)
	◎夜間開園 フラワー・イルミネーション	23日(土)～1/5(日)			お花見箸を作ろう！	2日(日) (参加 20組)
	木のフォーク作り教室	23日(土) (参加 3人)		◎世界一美しい「桜とチューリップの庭園」	20日(木)～4/20(日)	
	イルミネーション撮影教室	24日(日) (参加 6人)		◎夜間開園「夜桜ライトアップ」	29日(土)～4/6(日)	
	花のウォーキング<全12回>	9日(土) (参加 27人)		花のウォーキング<全12回>	8日(土) (参加 28人)	
	12月	クリスマス・アレンジ教室		1日(日) (参加 7人)		
塚本こなみの園芸教室 「フジの盆栽の育て方」		1日(日) (参加 23人)				
○和紙を使ったランプ作り		7日(土) (参加 12人)				
クリスマス・リース教室		8日(日) (参加 15人)				
ミニ門松作り教室		14日(土) (参加 28組)				
松ぼっくりのクリスマスツリー作り教室		15日(日) (参加 3人)				
花のウォーキング<全12回>		14日(土) (参加 25人)				
令和7年1月	◎早春チューリップの展示	1日(水)～3/16(日)				
	2025新春お年玉企画!	1日(水)～3日(金)				
	七草粥無料接待	7日(火)				
	○押し花アート	25日(土) (参加 2組)				
	バラの育て方教室(冬編)	26日(日) (参加 14人)				
	花のウォーキング<全12回>	11日(土) (参加 25人)				

## 5 理事会及び評議員会議決事項

### (1) 理事会議決事項

議決事項	議決年月日	件名
第1号議案	令和6.6.7	令和5年度事業報告及び会計報告の承認について（別冊）
第2号議案	〃	令和6年度定時評議員会招集及び提出議案について
第3号議案	令和6.6.24	副理事長の選任について
報第1号	令和6.9.20	直近の事業状況について（報告）
報第2号	〃	「浜名湖花博2024」事業について（報告）
報第3号	令和6.12.20	直近の事業状況について（報告）
第4号議案	令和7.3.7	公益財団法人浜松市花みどり振興財団職員の任免服務等に関する規程の一部改正について
第5号議案	〃	公益財団法人浜松市花みどり振興財団職員の育児休業及び育児短時間休業に関する規程の一部改正について
第6号議案	〃	公益財団法人浜松市花みどり振興財団職員の介護休業及び介護短時間休業に関する規程の一部改正について
第7号議案	〃	公益財団法人浜松市花みどり振興財団職員給与規程の一部改正について
第8号議案	〃	役員等賠償責任保険の契約加入について
第9号議案	〃	令和7年度公益財団法人浜松市花みどり振興財団事業計画について
第10号議案	〃	令和7年度公益財団法人浜松市花みどり振興財団収支予算について
報第4号	〃	直近の事業状況について（報告）

### (2) 評議員会議決事項

議決事項	議決年月日	件名
第1号議案	令和6.6.24	令和5年度事業報告及び会計報告の承認について（別冊）
第2号議案	〃	理事の選任について
第3号議案	〃	評議員の選任について

## 6 役員に関する事項

### (1) 理事・監事

令和 7年 3月31日現在

役員名等	氏 名	備 考
理事長	塚本こなみ	樹木医
副理事長	森下 忠康	館山寺温泉観光協会 会長
常務理事	新村 隆弘	学識経験者（浜松市OB）
理事	安間 清弘	前庄内地区自治連合会長
理事	福田 俊子	聖隷クリストファー大学社会福祉学部教授
理事	今田 欽也	学識経験者（前浜松市議会議員）
理事	後藤 康志	（公財）浜松市文化振興財団 文化事業課長
理事	金子 哲也	（公財）浜松・浜名湖ツーリズムビューロー 常務理事
理事	山本 素志	PCガーベラ部会
理事	鈴木 ふさ	行政書士
理事	竹山 英夫	学識経験者
監事	伊藤 規晃	浜松商工会議所 地域振興部長
監事	松下 和広	遠州信用金庫 常務理事

### (2) 評議員

令和 7年 3月31日現在

区分	氏 名	備 考
評議員	佐藤 英年	浜名商工会 庄内支所
評議員	大石 好孝	浜松市こども会連合会 会長
評議員	大塚 文俊	浜松市私立幼稚園協会 会長
評議員	長田 繁喜	浜松市副市長
評議員	宮崎 正	浜松市教育長
評議員	安池 澄江	浜松百撰 代表取締役
評議員	寺本 政司	㈱中日新聞社取締役 東海本社代表
評議員	伊藤 充宏	㈱静岡新聞社執行役員 浜松総局長
評議員	渥美 保広	J Aとびあ浜松 経営管理委員会 会長
評議員	諸井 宏司	浜松旅行業協議会（遠州鉄道㈱） 旅行営業部長

## 7 職員に関する事項

	令和7年3月31日現在				令和6年3月31日現在				備考
	人数	事務員	技術員	嘱託	人数	事務員	技術員	嘱託等	
事務局長	(1)	-	-	-	(1)	-	-	-	常務理事兼務
フラワーパーク	総務課長	1	1	-	-	1	1	-	-
	同補佐	1	1	-	-	1	1	-	-
	総務グループ長	1	1	-	-	1	1	-	-
	総務グループ	8	8	-	-	7	6	-	1
	動物園施設管理担当	2	1	-	1	3	2	-	1
	パーク管理課長	1	-	1	-	1	-	1	-
	同補佐	-	-	-	-	-	-	-	-
	グループ長	2	-	2	-	3	-	3	-
	園芸グループ	13	-	11	2	11	-	10	1
	フラワーパーク計	29	12	14	3	28	11	14	3
<b>【内訳】</b>									
事務員	12	12	-	-	11	11	-	-	
技術員	14	-	14	-	14	-	14	-	
嘱託職員(常勤)	3	-	-	3	3	-	-	3	
<b>財団合計</b>	<b>29</b>	<b>12</b>	<b>14</b>	<b>3</b>	<b>28</b>	<b>11</b>	<b>14</b>	<b>3</b>	
出納長	(1)	-	-	-	(1)	-	-	-	事務局長兼務
出納員	(1)	-	-	-	(1)	-	-	-	総務課長兼務

※ ( ) は兼務。

令和 6 年度

# 決算 の 状 況

## 1 貸借対照表

### 総括表

令和7年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	30,690,471	37,529,226	△6,838,755
預金	222,950,295	129,380,098	93,570,197
貯蔵品	8,581,861	10,168,163	△1,586,302
未収金	41,253,930	67,458,699	△26,204,769
立替金	32,663	105,896	△73,233
前払費用	-	1,100,000	△1,100,000
流動資産合計	303,509,220	245,742,082	57,767,138
2 固定資産			
(1)基本財産			
預金	55,000,000	55,000,000	0
基本財産合計	55,000,000	55,000,000	0
(2)特定資産			
退職給付引当資産	169,146,000	156,630,000	12,516,000
特定資産合計	169,146,000	156,630,000	12,516,000
(3)その他固定資産			
土地	14,200,765	14,200,765	0
構築物	1	1	0
車輛	7	7	0
器具備品	10	10	0
ソフトウェア	3	3	0
リース資産	8,818,197	11,222,102	△2,403,905
出資金	10,000	10,000	0
その他固定資産合計	23,028,983	25,432,888	△2,403,905
固定資産合計	247,174,983	237,062,888	10,112,095
<b>資産合計</b>	<b>550,684,203</b>	<b>482,804,970</b>	<b>67,879,233</b>

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
II 負債の部			
1 流動負債			
買掛金	11,772,781	17,307,734	△5,534,953
未払金	55,140,661	32,763,841	22,376,820
未払費用	13,416,874	32,012,197	△18,595,323
未払消費税	27,629,600	5,204,700	22,424,900
預り金	5,759,254	5,335,516	423,738
リース債務	2,549,598	2,643,570	△93,972
賞与引当金	8,323,000	7,380,000	943,000
流動負債合計	124,591,768	102,647,558	21,944,210
2 固定負債			
退職給付引当金	169,146,000	156,630,000	12,516,000
リース債務	6,268,599	8,578,530	△2,309,931
固定負債合計	175,414,599	165,208,530	10,206,069
<b>負債合計</b>	<b>300,006,367</b>	<b>267,856,088</b>	<b>32,150,279</b>
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
地方公共団体補助金	5,000,000	5,000,000	0
寄付金	50,000,000	50,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(55,000,000)	(55,000,000)	0
指定正味財産合計	55,000,000	55,000,000	0
2 一般正味財産			
一般正味財産	195,677,836	159,948,882	35,728,954
<b>正味財産合計</b>	<b>250,677,836</b>	<b>214,948,882</b>	<b>35,728,954</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>550,684,203</b>	<b>482,804,970</b>	<b>67,879,233</b>

## 2 正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
ア 基本財産運用益	1,100	1,102	△2
イ 特定資産運用益	2,756	2,550	206
ウ 事業収益	745,754,477	371,806,310	373,948,167
入園料収益	414,405,158	178,316,721	236,088,437
レストラン売上収益	51,208,025	36,841,622	14,366,403
売店売上収益	171,598,368	79,318,712	92,279,656
駐車場使用料収益	49,835,500	37,951,800	11,883,700
園内移動車両使用料収益	15,247,650	8,184,900	7,062,750
施設使用料収益	19,314,861	13,309,274	6,005,587
その他使用料収益	19,626,655	13,413,477	6,213,178
受取雑収入	3,824,505	3,573,477	251,028
受取謝礼金	349,700	597,510	△247,810
受取イベント参加収入	344,055	298,817	45,238
エ 受取受託料	6,837,000	59,905,300	△53,068,300
オ 受取指定管理料	136,200,000	136,200,000	0
カ 受取寄附金	2,621,000	1,130,000	1,491,000
キ 雑収益	148,296	2,871	145,425
受取利息	148,296	2,871	145,425
経常収益計	891,564,629	569,048,133	322,516,496
(2) 経常費用			
ア 事業費	767,341,571	534,655,277	232,686,294
報酬	5,737,200	5,737,200	0
給料	88,423,800	84,249,450	4,174,350
職員手当	38,001,483	34,262,002	3,739,481
法定福利費	22,160,751	20,709,984	1,450,767
退職給付費用	12,877,620	11,771,500	1,106,120
賃金	107,667,719	103,287,155	4,380,564
旅費交通費	333,680	112,330	221,350
報償費	8,059,757	7,213,018	846,739
燃料費	14,064,363	11,649,833	2,414,530
光熱水費	23,117,716	20,947,123	2,170,593
備用品費	24,995,889	20,606,616	4,389,273
印刷製本費	1,362,858	1,579,929	△217,071
通信運搬費	1,434,721	1,402,067	32,654
広告宣伝費	14,028,111	15,607,240	△1,579,129
手数料	13,529,734	10,465,666	3,064,068
会議費	616,362	278,002	338,360
負担金	4,000	4,000	0
公課費	201,500	255,800	△54,300
被服費	835,067	710,795	124,272
賃借料	3,052,651	2,760,601	292,050
寄付金	129,000,000	29,500	128,970,500
雑費	57,634	46,671	10,963
委託費	61,512,091	33,383,891	28,128,200

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
修繕費	15,128,855	35,430,094	△20,301,239
保険料	1,085,409	808,894	276,515
原材料費	3,533,007	2,871,190	661,817
肥料農薬費	3,021,649	2,816,116	205,533
種苗費	35,038,383	34,001,960	1,036,423
売店材料費	112,543,628	53,725,624	58,818,004
食材費	23,249,956	16,159,756	7,090,200
棚卸減耗費	144,431	53,089	91,342
減価償却費	2,521,546	1,718,181	803,365
イ 管理費	73,268,151	51,101,870	22,166,281
報酬	5,787,200	5,779,200	8,000
給料	6,564,600	6,439,050	125,550
職員手当	2,951,927	2,904,695	47,232
法定福利費	3,141,079	3,115,162	25,917
厚生福利費	361,477	296,843	64,634
会議費	-	-	-
通信運搬費	45,000	44,000	1,000
委託費	605,000	495,000	110,000
手数料	2,217,357	1,706,339	511,018
負担金	618,500	578,500	40,000
備用品費	2,596,911	2,076,481	520,430
消費税	48,379,100	27,666,600	20,712,500
経常費用計	840,609,722	585,757,147	254,852,575
当期経常増減額	50,954,907	△16,709,014	67,663,921
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
前年度指定管理料	3,174,647	6,361,085	△3,186,438
経常外収益計	3,174,647	6,361,085	△3,186,438
(2) 経常外費用			
経常外費用計	-	-	-
当期経常外増減額	3,174,647	6,361,085	△3,186,438
他会計振替額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	54,129,554	△10,347,929	64,477,483
法人税、住民税及び事業税	18,400,600	1,747,000	16,653,600
当期一般正味財産増減額	35,728,954	△12,094,929	47,823,883
一般正味財産期首残高	159,948,882	172,043,811	△12,094,929
一般正味財産期末残高	195,677,836	159,948,882	35,728,954
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	55,000,000	55,000,000	0
指定正味財産期末残高	55,000,000	55,000,000	0
III 正味財産期末残高	250,677,836	214,948,882	35,728,954

3 正味財産増減計算書内訳表

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
ア 基本財産運用益	1,100	-	-	-	1,100
イ 特定資産運用益	1,930	826	-	-	2,756
ウ 事業収益	486,521,968	259,345,399	-	△112,890	745,754,477
入園料収益	414,405,158	-	-	-	414,405,158
リストン売上収益	-	51,265,110	-	△57,085	51,208,025
売店売上収益	-	171,654,173	-	△55,805	171,598,368
駐車場使用料収益	49,835,500	-	-	-	49,835,500
園内移動車両使用料収益	15,247,650	-	-	-	15,247,650
施設使用料収益	-	19,314,861	-	-	19,314,861
その他使用料収益	2,544,770	17,081,885	-	-	19,626,655
受取雑収入	3,795,135	29,370	-	-	3,824,505
受取謝礼金	349,700	-	-	-	349,700
受取イベント参加収入	344,055	-	-	-	344,055
エ 受取受託料	6,837,000	-	-	-	6,837,000
オ 受取指定管理料	55,367,344	54,480,000	26,352,656	-	136,200,000
カ 受取寄附金	2,621,000	-	-	-	2,621,000
キ 雑収益	148,296	-	-	-	148,296
受取利息	148,296	-	-	-	148,296
経常収益計	551,498,638	313,826,225	26,352,656	△112,890	891,564,629
(2) 経常費用					
ア 事業費	565,140,400	202,301,456	-	△100,285	767,341,571
報酬	5,737,200	-	-	-	5,737,200
給料	81,659,100	6,764,700	-	-	88,423,800
職員手当	35,665,096	2,336,387	-	-	38,001,483
法定福利費	18,770,026	3,390,725	-	-	22,160,751
退職給付費用	7,726,620	5,151,000	-	-	12,877,620
賃金	84,774,839	22,892,880	-	-	107,667,719
旅費交通費	333,680	-	-	-	333,680
報償費	2,171,457	5,888,300	-	-	8,059,757
燃料費	14,064,363	-	-	-	14,064,363
光熱水費	18,435,536	4,682,180	-	-	23,117,716
備品消費	19,038,928	5,956,961	-	-	24,995,889
印刷製本費	1,362,858	-	-	-	1,362,858
通信運搬費	1,434,721	-	-	-	1,434,721
広告宣伝費	14,128,396	-	-	△100,285	14,028,111
手数料	7,653,780	5,875,954	-	-	13,529,734
会議費	616,362	-	-	-	616,362
負担金	-	4,000	-	-	4,000
公課費	201,500	-	-	-	201,500
被服費	835,067	-	-	-	835,067
賃借料	2,204,520	848,131	-	-	3,052,651
寄付金	129,000,000	-	-	-	129,000,000
雑費	57,634	-	-	-	57,634
委託費	59,702,341	1,809,750	-	-	61,512,091

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
修繕費	14,374,882	753,973	-	-	15,128,855
保険料	1,076,909	8,500	-	-	1,085,409
原材料費	3,533,007	-	-	-	3,533,007
肥料農薬費	3,021,649	-	-	-	3,021,649
種苗費	35,038,383	-	-	-	35,038,383
売店材料費	-	112,543,628	-	-	112,543,628
食材費	-	23,249,956	-	-	23,249,956
棚卸減耗費	-	144,431	-	-	144,431
減価償却費	2,521,546	-	-	-	2,521,546
イ 管理費	32,538,623	14,389,477	26,352,656	△12,605	73,268,151
報酬	-	-	5,787,200	-	5,787,200
給料	-	-	6,564,600	-	6,564,600
職員手当	-	-	2,951,927	-	2,951,927
法定福利費	-	-	3,141,079	-	3,141,079
厚生福利費	-	-	361,477	-	361,477
会議費	-	-	12,605	△12,605	-
通信運搬費	-	-	45,000	-	45,000
委託費	-	-	605,000	-	605,000
手数料	-	-	2,217,357	-	2,217,357
負担金	-	-	618,500	-	618,500
備用品費	-	-	2,596,911	-	2,596,911
消費税	32,538,623	14,389,477	1,451,000	-	48,379,100
経常費用計	597,679,023	216,690,933	26,352,656	△112,890	840,609,722
当期経常増減額	△ 46,180,385	97,135,292	0	0	50,954,907
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
前年度指定管理料	3,174,647	-	-	-	3,174,647
経常外収益計	3,174,647	-	-	-	3,174,647
(2) 経常外費用					
経常外費用計	-	-	-	-	0
当期経常外増減額	3,174,647	0	0	-	3,174,647
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△43,005,738	97,135,292	0	0	54,129,554
他会計振替額	45,062,000	△45,062,000	-	-	0
税引前当期一般正味財産増減額	2,056,262	52,073,292	-	-	54,129,554
法人税、住民税及び事業税	-	18,400,600	-	-	18,400,600
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>2,056,262</b>	<b>33,672,692</b>	-	-	<b>35,728,954</b>
一般正味財産期首残高	2,877,609	157,071,273	-	-	159,948,882
<b>一般正味財産期末残高</b>	<b>4,933,871</b>	<b>190,743,965</b>	-	-	<b>195,677,836</b>
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	-	-	-	0
指定正味財産期首残高	55,000,000	-	-	-	55,000,000
<b>指定正味財産期末残高</b>	<b>55,000,000</b>	-	-	-	<b>55,000,000</b>
III 正味財産期末残高	<b>59,933,871</b>	<b>190,743,965</b>	-	-	<b>250,677,836</b>



## 4 財務諸表に対する注記

### (1) 重要な会計方針

#### ア 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品は、先入先出法による原価法による。

#### イ 固定資産の減価償却の方法

(構築物・車輛・器具備品・ソフトウェア)

定額法によっている。法人税法に定める耐用年数を使用している。

(リース資産)

リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法によっている。

- ・窓口発券機 1式・・・窓口券売システム「券作くん」ソフトである。
- ・レストラン券売システム 1式・・・メニュー自動発注機能搭システムである。
- ・給与・就業システム 1式・・・AMANO社の給与管理及び就業管理システムである。
- ・複合機 1台・・・浜名湖ゲートで利用するFAX機能付き機械装置である。
- ・複合機 2台・・・事務所、パーク棟で利用するFAX機能付き機械装置である。

#### ウ 引当金の計上基準

##### 退職給付引当金

当期末における退職給付の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

##### 賞与引当金

翌年度の職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち、当期に帰属する額(12月から3月の4ヶ月分)を、計上している。

#### エ 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### (2) 会計方針の変更

該当なし

### (3) 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	55,000,000	0	0	55,000,000
小 計	55,000,000	0	0	55,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	156,630,000	12,877,620	361,620	169,146,000
小 計	156,630,000	12,877,620	361,620	169,146,000
合 計	211,630,000	12,877,620	361,620	224,146,000

### (4) 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	55,000,000	(55,000,000)	-	-
小 計	55,000,000	(55,000,000)	-	-
特定資産				
退職給付引当資産	169,146,000	-	-	(169,146,000)
小 計	169,146,000	-	-	(169,146,000)
合 計	224,146,000	(55,000,000)	-	(169,146,000)

### (5) 担保に供している資産

該当なし

### (6) 保証債務等の偶発債務

該当なし

(7) 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土地	14,200,765	-	14,200,765
構築物	1,050,000	1,049,999	1
車輛	3,522,766	3,522,759	7
器具備品	11,395,410	11,395,400	10
ソフトウェア	3,200,400	3,200,397	3
リース資産	16,782,803	7,964,606	8,818,197
合 計	50,152,144	27,133,161	23,018,983

(8) 補助金及び寄付金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金及び寄付金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位：円)

補助金及び寄付金の名称及び交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 浜松市	5,000,000	0	0	5,000,000	指定正味財産
寄付金 浜松市	50,000,000	0	0	50,000,000	指定正味財産
合 計	55,000,000	0	0	55,000,000	

## (9) 退職給付関係

### ア 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として、退職一時金制度を設けている。退職一時金制度は簡便法により、退職給付引当金及び退職給付費用を計算している。

### イ 確定給付制度

#### ① 簡便法を適用した制度の退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

退職給付引当金の期首残高	156,630,000 円
退職給付費用	12,877,620 円
<u>退職給付の支払額</u>	<u>361,620 円</u>
退職給付引当金の期末残高	169,146,000 円

#### ② 退職給付債務の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

<u>非積立型制度の退職給付債務</u>	<u>169,146,000 円</u>
貸借対照表に計上された負債	169,146,000 円

<u>退職給付引当金</u>	<u>169,146,000 円</u>
貸借対照表に計上された負債	169,146,000 円

#### ③ 退職給付費用

簡便法で計算した退職給付費用	12,877,620 円
----------------	--------------

## 5 附属明細書

### (1) 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表の注記に記載しているため、内容の記載を省略する。

### (2) 引当金の明細

(単位：

円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	7,380,000	8,323,000	7,380,000	0	8,323,000
退職給付引当金	156,630,000	12,877,620	361,620	0	169,146,000

## 6 財産目録

令和7年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金		運転資金として	30,690,471	
	預金	普通預金 静岡銀行舘山寺支店等	運転資金として	222,950,295	
	貯蔵品	売店材料棚卸資産等	収益事業に係る商品	8,581,861	
	未収金	観光券等入園料等	公益事業に係る未収入金	41,253,930	
	立替金	くろーばー教室経費	公益事業に係る立替金	32,663	
流動資産合計				303,509,220	
(固定資産)	基本財産	定期預金 静岡銀行浜松営業部 静岡銀行舘山寺支店	共用財産であり、運用益を公益事業・運営費財源として使用 ＜基本財産計＞	5,000,000	
				50,000,000	
特定資産	退職給付引当資産	定期預金 遠州信用金庫舘山寺支店 浜松磐田信用金庫湖東支店	退職金支払に備えた資産として使用 ＜特定資産計＞	132,006,000 37,140,000 169,146,000	
その他 固定資産	土地	臨時駐車場用地	共用財産であり、公益事業の用に供している。	14,200,765	
	構築物	パイプトンネル等		1	
	車輛	作業車軽トラック等		7	
	器具備品	管理機、サーバー等		10	
	ソフトウェア	給与、就業、償却システム		共用財産、公益事業用	3
	リース資産	POSレジ・発券システム等		共用財産、公益事業用	8,818,197
	出資金	遠州信用金庫舘山寺支店	共用財産、公益事業用 ＜その他固定資産計＞	10,000 23,028,983	
固定資産合計				247,174,983	
資産合計				550,684,203	

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	買掛金	売店商品、食材仕入代	収益事業に係る買掛金	11,772,781
	未払金	物品購入代	公益事業に係る未払金	55,140,661
	未払費用	3月分職員手当、賃金、社会保険料等	職員3月分手当等未払費用	13,416,874
	未払消費税	消費税	事業に係る未払消費税	27,629,600
	預り金	社会保険料、協賛金等	職員の社保料の預り金	5,759,254
	リース債務	POSシステム・複合機等	公益・収益事業に供する機器債務	2,549,598
	賞与引当金	6月支払額の当年度分	職員の賞与の引当金	8,323,000
流動負債合計				124,591,768
(固定負債)	退職給付引当金	令和7年3月末現在の要支給額	職員の退職給付の引当金	169,146,000
	リース債務	POSシステム・複合機等	公益・収益事業に供する機器債務	6,268,599
固定負債合計				175,414,599
負債合計				300,006,367
正味財産				250,677,836